



中通小の学びの森・展望所が完成



小嵐山の上（北山）にある中通小の学校林（約2.5ha）に、学びの森・展望所が完成しました。この展望所は県の学びの森学校林整備事業をうけ、ここ数年荒廃ぎみであった学校林の整備に保護者の皆さんが立ち上がったもので、児童や学校職員と力を合わせ、今年度3回にわたり、雑木の除去、歩道づくり、観察台設置などの作業を行いました。



▲保護者の皆さんによる作業の様子



今後も枝打ちやしいたけのコマ打ちなどの体験学習を取り入れ、子どもたちに森林とふれあう機会をつくっていききたいということです。最後の作業を終えた2月23日は、親子で山モミジなどを植樹した後、完成した観察台に立ち、一緒に雄大な景色を眺め、たくさんの会話が弾みました。

「市民の皆さんにも、展望所をぜひ利用してもらいたい」と保護者の皆さん。作業中見つかったという千手観音も必見。ぜひ、お訪ねください。場所は、小嵐山入口から1.4kmほど上がった道路の右側で、3つ目のカーブミラーが目印です。

丸木政臣氏▶

1924年阿蘇市生まれ。1943年陸軍入隊。終戦後阿蘇に帰り家事に従事。熊本師範学校付属国民学校の教員となり、東京の私立和光学園に移り、校長、園長、理事長を経て、現在顧問。



「母しゃんの子守り唄」原作者、丸木政臣氏が講演

山田武監督が映画化する「母しゃんの子守り唄」の原作者、丸木政臣氏の講演会（実行委員会主催）が、2月25日、阿蘇いこいの村で開催されました。

丸木氏は、2000年にペスタロッチー教育賞という国際的な賞を受賞した全国的に有名な教育者で、一の宮町宮地のご出身です。

講演は、「子どもたちが健やかに育つために今必要なこと」と題して行われ、丸木氏は、本（小説）にも書かれた、阿蘇で子ども時代に体験した悲しさや母の愛などについて話されました。

講演の最後には、山田武監督も特別出演し、「原作に感動した。人々の心に響く映画になるだろう。丸木先生から阿蘇のいい所をたくさん撮るように頼まれました（笑）」と挨拶。会場には丸木氏の阿蘇での友人も来ており、大きな拍手が沸き起こりました。

映画「母しゃんの子守り唄」は来年上映予定です。



▶山田武監督
1963年生、熊本県出身

阿蘇高生徒会が車椅子を寄贈



阿蘇高校の生徒会が、阿蘇市社会福祉協議会（会長：佐藤市長）へ介助用車椅子1台を寄贈するとして、同校の生徒会執行部の生徒さん7人が2月26日に市役所を訪れました。

これは、同校の生徒会が昨年10月に開催した文化祭における飲食バザー収益金を有効活用し、普段お世話になっている地域の方たちへの感謝の気持ちとして寄贈したものです。

同校の生徒会はこの他にも、バザー収益金を活用して、ASO環境共生基金への寄付やスペシャルオリンピックスなどの団体への寄付も行っています。

